

国語総合

〈問題〉

令和7年度

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開かないでください。
- 2 解答用紙の所定の位置に受験番号・氏名を記入してください。
- 3 解答はすべて、HBまたはBの黒鉛筆もしくはシャープペンシルで記入してください。
- 4 問題は1～4ページに記載されています。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に申し出てください。
- 5 試験時間は50分です。ただし試験開始から30分が経過した段階で、終了した者は退出を認めます。解答用紙を裏返したまま机に置き、すみやかに退室してください。その後の入室はいかなる理由があっても認めません。尚、30分経過前の途中退出は認めません。
- 6 問題の内容についての質問には、いっさい応じません。
- 7 試験終了後は、問題冊子と解答用紙を机に置いて退室してください。

問1 次の傍線部の漢字に、読み仮名をつけよ。

ア 断食する。 イ 金の亡者。 ウ 物欲を考える。 エ 人との一期一会。

オ 厳肅に行う。

問2 次の傍線部のカタカナを、漢字で書きなさい。

ア 弘法も筆のアヤマリ。 イ アクジ千里を走る。 ウ 嘘もホウベンである。

エ ジュウナンに答える。 オ ガデンインスイ。

問3 次の文章を読んで、各問い合わせなさい。

私たちの寿命は、^①（　　）の瞬間から時を刻みはじめる。産声をあげる十カ月も前から、私たちは死に向かって歩みはじめるのである。しかし、その歩みは、はじめから崩壊に向かっているのではない。一個の受精卵は六十兆個の細胞に増え、人間という小さな宇宙を形成する。脳が発達して、^②（　　）を感じ、考え、学習する。自意識と無の概念は死へのおそれを生むが、死への歩みは成熟、完成を経る歩みである。百年に満たない死への歩みのなかで、私たちは自分を高める余地が残されている。

^③死は生の終着点のように思われているが、決してそのようなものではない。死は生を支え、生を生み出す。受精の際には、たくさんの精子が死に、残された一つの精子によつて生命が誕生する。一つの生のためにおびただしい数の死が要求されている。死は生とおなじように^④ダイナミックである。

生命の歴史のなかでは、生と死はおなじ価値をもつ。生きている細胞より、死んだ細胞の方がずっと多いという意味において、^⑤それは死の歴史であるともいえる。三十六億年の生命の歴史のなかに編み込まれた死を避けるこ

とはできないし、それは避けてはならないものである。死によつてこそ生は存在するのであり、死を否定することは生をも否定することになる。

^⑥多細胞生物にとつて、生きるとは、少しずつ死ぬことである。私たちは死に向かつて行進するはてしなき隊列である。三十六億年の間、書き継がれてきた遺伝情報は、個体の死によつて途絶える。個体の死は三十六億年の時間に終止符を打つ。生殖細胞に組み込まれた遺伝情報だけが生きつづける。

このように見てくると、^⑦私たちの意識している死というものは、^⑧生物学的な死とはかなり異質なものであることがわかる。生物学的な死は三十六億年の歴史を秘めたダイナミックな営みである。それは、適者存在のためのきびしい捷である。

一方、私たちの意識する死は^⑨人間の神経回路のなかにある死である。それは意識のなかの死であり、心理的な死である。死は私自身の問題であり、親しいものに悲しみをあたえる。それは三十六億年の歴史とは無関係な感情であり、むしろ静的なものである。

一方、脳死問題などに代表される医学的な死は、生き返ることのできない点を見きわめるということをもつとも重視する死である。どこまで壊れれば、^⑩修理不能であるかという意味での死である。ポイント・オブ・ノー・リターン、すなわち死である。そこには、生物学的な死がもつ三十六億年の歴史の重みもダイナミズムもない。また、人間の死がもつ深い感情も排除されている。

^⑪尊厳死を考えるにしろ、安楽死を考えるにしろ、死の生物学的な側面、心理学的な側面を十分に考慮する必要があるのではなかろうか。三十六億年という想像を絶するような長い時間を生殖細胞を通して受け継がれてきた遺伝情報が消滅する瞬間としての死、生命の大きな流れからそれで、死の運命を負わされた細胞が形成する個体が消えていく瞬間としての死、そこに宿る意識の受けとめている死、その人を取り囲む人々の感じている死など、死はけつして脳波が平坦になつた状態だけでもなく、心臓が止まる瞬間だけでもない。

いのちには三十六億年の歴史の重みがあり、百年の意識の重みがあり、その人をとりまく多くの人々に共有されるものであるという側面がある。死は生命の歴史とともに民族の歴史、家系の歴史、家族の歴史、個人の歴史すべてを包含するものである。このように大きな視点で生や死をとらえなければ、人間は死を私物化して意のままに支配し、かぎりなく^⑫傲慢になるであろう。

出典

柳澤桂子『われわれはなぜ死ぬのか 死の生命科学』「死とは何か」

(1) 「^①（ ）」には、どのような言葉が入るか。文中から適切な言葉を探して、漢字二字で補いなさい。

(2) 「^②（ ）」とあるが、四字熟語はいる。適切な四字熟語を、ア～オの中から記号で選びなさい。

ア 一心不乱 イ 温故知新 ウ 喜怒哀楽 エ 愛別離苦 オ 四苦八苦

(3) 「^③死は生の終着点のように思われているが、決してそのようなものではない。」とあるが、なぜ、そのように筆者は考えているのか。その答えを本文中から抜きだし、解答欄に当てはまるように書きなさい。

(4) 「^④ダイナミック」とあるが、文中には対義語が出てきている。その意味が反対となる言葉を本文中から抜きだしなさい。

(5) 「^⑤それは死の歴史である」とあるが、「それ」という指示語は何を示しているか。本文中から抜きだしなさい。

(6) 「^⑥多細胞生物にとって、生きるとは、少しずつ死ぬことである。」とあるが、「死ぬ」という言葉を別な言葉で言いかえると、この段落中では、どのような言葉で表現しているか。文中から、四字以内で抜きだしなさい。

(7) 「^⑦私たちの意識している死」とあるが、どのような死であるといえるのか。次のア～オの中から記号で選びなさい。

ア 死を否定することは生をも否定することになる死

イ 生殖細胞に組み込まれた遺伝情報だけの死

ウ 親しいものに悲しみをあたえる死

エ 三十六億年の歴史を秘めたダイナミックな死

オ 適者存在のためのきびしい死

(8) 「^⑧生物学的な死」とあるが、他にどんな学問分野の死を例としてあげているか。解答欄にあてはまるように二つ挙げよ。

(9) 「^⑨人間の神経回路のなかにある死」とあるが、「神経回路」を別な言い方に説明した部分が本文中に書かれている。「意識」という言葉を使用せず、他の言葉になおして、漢字二字で解答欄に書きなさい。

(10) 「^⑩修理不能であるかという意味での死である。」とあるが、同じ意味の部分を、本文中から探して、解答欄にあてはまるように書きなさい。

(11) 「^⑪尊厳死を考えるにしろ、安楽死を考えるにしろ、死の生物学的な側面、心理学的な側面を十分に考慮する必要があるのでなかろうか。」とあるが、その理由が書かれた段落の最初の五文字を、書きぬきなさい。

(12) 「^⑫傲慢」とは何か、四〇字以内で説明せよ。

問4 次について、論じなさい。

スポーツ活動における諸課題について、どのようなことが課題であり、また、その課題を解決するためにはどうすれば良いか、二〇〇字以内で自分の意見を述べよ。

※諸課題については、左記の【キーワード】を参考にすること
※最初にタイトルを記載（自由に設定）してから論じること

【キーワード】

- ①けが・健康問題（練習や試合中のけが、疲労、栄養管理など）
- ②技術向上（特定のスキルや技術の習得、パフォーマンスの向上など）
- ③チーム内コミュニケーション（チームメイトや監督・コーチとのコミュニケーション問題、連携の不備など）
- ④モチベーション（継続的なモチベーションの維持、目標設定など）
- ⑤メンタルヘルス（プレッシャーやストレス、メンタル面のサポートなど）

國語総合解答用紙

20桌

12問×5点=60点

5問×2点=10点

5問×2点=10点

問4

【採点基準】

- ① 文字数
字数による減点あり。
- ② 内容
に対する内容として合っていない場合は減点あり。
- ③ 読字脱字
脱字による減点あり。

タイトル

問3

(12)	(11)	(10)	(9)	(6)	(4)	(2)
22 お い	22 生 感	22 と き	23 の 情	23 の 絶	23 静 的	23 は 無
23 ご の	21 き 情	21 き 絶	21 は 無	21 は 無	21 は 無	21 は 無

問2

誤

四

いち

受験番号

氏
名

点